

法令、認証規格、ガイドライン、教育などの

# 「文系のセキュリティ」 をDXする

 SecureNavi

SecureNavi株式会社

# プロフィール

## 「悲報をなくす」をビジョンに掲げ 情報セキュリティの課題をソフトウェアで解決する企業



SecureNavi株式会社

設立 2020年1月

所在地 東京都

社員数 97名 2025年9月時点

2020年4月  日本初「ISMSオートメーションツール」のリリース  
国内シェアNo1ツール

2022年6月  日本初「Pマークオートメーションツール」のリリース  
文書管理から申請まで、Pマーク手続きがすべて完結

2023年10月  「Fit&Gap」のリリース  
日本初のセキュリティコンプライアンスオートメーションツール

# 「文系のセキュリティ」領域の事業を通じて、この世界から悲報をなくすことに取り組んでいます

## 文系のセキュリティ

社内規程管理

リスクアセスメント

監査

認証取得・維持

インシデント対応

教育・訓練

法令対応

**市場にはツールがなく  
DX化が進んでいない**

## 理系のセキュリティ

ウイルス対策

ファイアウォール

脆弱性検査

暗号化

メールセキュリティ

VPN

ID管理

**市場にツールが多く存在して  
おりDX化が進んでいる**

# セキュリティマネジメント業務で、 このようなお悩みがありませんか？

名前 ↑

- 02\_ISMSマニュアル-第29版.doc
- 03\_ISMS用語集-第14版.doc
- 04\_ISMS適用宣言書-第14版.xls
- 04\_ISMS適用宣言書-第14版.doc
- 05\_ISMSシステム運用規定-第13版.doc
- 06\_ISMSリスクアセスメント要領-第19版.doc
- 07\_ISMS情報資産管理規定-第16版.doc
- 08\_ISMS情報資産管理要領-第21版.docx
- 09\_ISMS教育訓練管理規定-第14版.doc
- 10\_ISMS文書・記録管理規定-第13版.doc
- 11\_ISMSシステム導入・開発・変更管理規定(ユーザー部門)-第17版.docx
- 12\_ISMSシステム導入・開発・変更管理規定(情報システム部門)-第12版.docx
- 13\_ISMS外部委託管理規定-第20版.doc

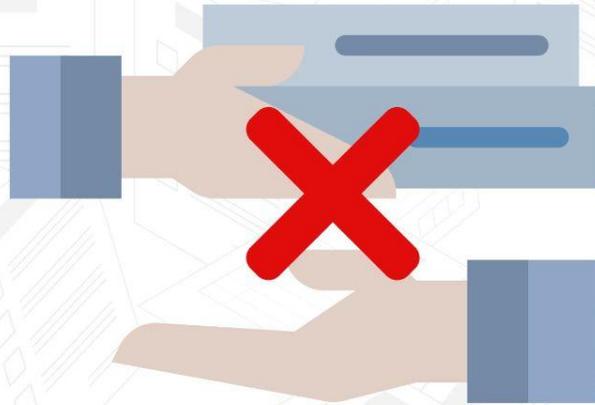
複雑で大量の規程・文書

名前

- ISMS-B12 アクセス管理規程\_1.0\_20201204.doc
- ~SMS-B15 事業継続管理規程\_.doc
- ISMS-B15 事業継続管理規程\_1.00\_20191201.doc
- ~SMS-B08 人的セキュリティ管理規程\_1.00\_20191201.doc
- ISMS-A01 情報セキュリティ基本方針書\_1.00\_20191201.docx
- 20210501【確認】.doc
- ISMS-B10 物理的・環境的管理規程\_1.20\_20201204.doc
- ISMS-B07 情報セキュリティ運営管理規程\_1.20\_20210501.doc
- ~SMS-B15 事業継続管理規程\_1.00\_20191201.doc
- ISMS-B08 人的セキュリティ管理規程\_1.00\_20191201.doc
- ISMS-B13 システムの開発および保守管理規程\_1.00\_20191201.doc
- ISMS-B14 適合性管理規程\_1.20\_20210501.doc
- ISMS-B09 セキュリティ事件・事故管理規程\_1.10\_20200507.doc
- ISMS-B06 リスクマネジメント管理規程\_1.30\_20210815.docx
- ISMS-A02 ISMSマニュアル\_1.30\_20210501.docx



セキュリティマネジメント業務で、  
このようなお悩みがありませんか？



運用属人化しており、引き継ぎが困難

# セキュリティ業務の 自動化・効率化を実現

利用  
企業 **1,000** 社

※2025年4月時点。SecureNaviを有償でご利用いただいている企業数

サービス  
継続率 **99%**以上

※2024年度における月次平均サービス継続率



## セキュリティマネジメント業務の効率化・高度化を支援

### SecureNavi コンサルティング

情報セキュリティマネジメント業務の運営効率化・高度化に特化した伴走型コンサルティングサービスです。

ISMS認証やPマーク、といった認証の取得・運用支援はもちろん、セキュリティポリシーや関連文書の体系見直し、マネジメントプロセスの再設計、教育・訓練、インシデント対応までを一貫してご支援します。

業務効率化・DX化支援

セキュリティ教育/研修支援

規程や台帳の最適化

内部監査支援

セキュリティ認証取得/  
運用支援

インシデント対応



## セキュリティ強化

### SecureNavi

セキュリティマネジメント業務を自動化・効率化するクラウドサービス



### Fit&Gap

法令や認証規格、業界ガイドラインなど、あらゆるセキュリティ規制対応を統合管理できるセキュリティ・コンプライアンス・ソフトウェア

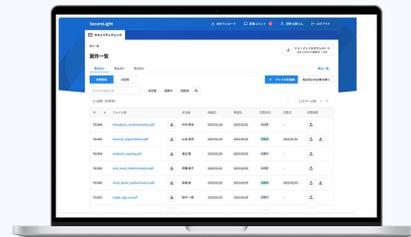
### 2線の匠クラウド

委託先・システム・クラウド・グループ会社に対するセキュリティリスクチェックを1つのプラットフォームで実現するクラウドサービス

## セキュリティ評価

### SecureLight

セキュリティチェックシート対応をAIで自動化・効率化するクラウドサービス



セキュリティ業務の自動化・効率化を実現  
**SecureNavi**

# セキュリティ担当者の日々の業務を自動化・効率化



## リスクアセスメント提案&文書化



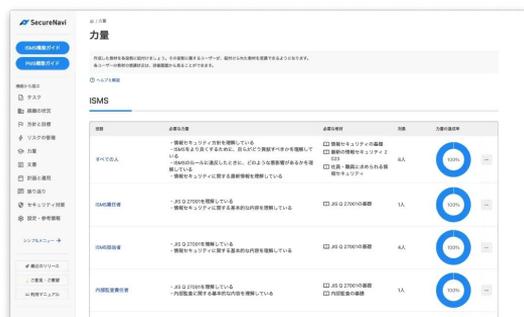
## 文書の一元管理&Ver.管理



## タスク&スケジュール管理



## 内部監査



## 教材と受講進捗管理



## 委託先管理

「やりすぎていた」運用業務を見直し、世の中の標準に合った本質的なISMSを再構築。

## 文書数1/5、運用作業時間を90%以上削減!

### お悩み

- 取得から15年以上経過し、ISMS認証やPマークの運用が属人化・肥大化していた。
- 過剰になってしまっている業務をどのように変革すれば良いか判断がつかなかった。

### 実現 したいこと

- ISMS認証やPマークに関する運用の属人性を排除したい。
- ISMS認証やPマークの維持や審査準備の業務を効率化したい。

### 導入の効果

- 過去の肥大化した運用や文書類を抜本的に見直し、セキュリティの質を担保した状態で作業時間を90%以上削減することに成功。
- 現場職員が個々人で管理していた情報資産台帳をSecureNaviに集約。
- ツールのガイドやCSのサポートにより、安心感を持って効率的に運用を再構築できた。

[事例ページはこちら >](#)

FCC techno



企業名	株式会社FCCテクノ (旧社名:福岡電子計算センター)
業種	システム開発
企業規模	約150人
認証取得の時期	1962年7月

## セキュリティチェックシートAI回答サービス

# SecureLight

SecureLightは、セキュリティチェックシート対応を自動化・効率化するAIサービスです。

チェックシートをアップロードするだけで、貴社専用DB+AIによる解析で、回答を自動生成。回答の属人化を防ぎながら、業務の効率化と品質向上を両立します。



# — SecureLightの特徴 —

AI活用により最短1営業日で返答可能に

※保証値ではありません。

セキュリティチェックシートの原本をSecureLightにアップロードするだけ。  
弊社でAIを活用した回答を行い、確認と未回答設問への対応のみをお客様にお願いしています。  
また、未回答だった設問にご回答いただくことで、データベースがアップデートされ、  
次回以降はその設問も回答が可能になります。



AI搭載セキュリティリスクマネジメントクラウド

 2線の匠クラウド

## セキュリティ担当者



委託/再委託

システム開発、運用監視、BPO事業者など



社内システム

基幹/基盤システム、ゲームシステム、サービスシステムなど



グループ企業

子会社、関連会社など



クラウドサービス

SaaS、PaaS、IaaSなど



その他

各種連携先（FinTech、外部API、調査/分析/法務委託等）

## 2線の匠クラウド

委託/再委託

システム開発、運用監視、BPO事業者など

社内システム

基幹/基盤システム、ゲームシステム、サービスシステムなど

グループ企業

子会社、関連会社など

クラウドサービス

SaaS、PaaS、IaaSなど

その他

各種連携先（FinTech、外部API、調査/分析/法務委託等

### ①脱Excel もう、無駄な作業はしない



監査の依頼から質疑応答、証拠の提出、集計までをクラウドで完結。バージョン管理や転記ミスといった、Excelならではの悩みから解放され、コア業務に集中できます。

### ②一元化 もう、情報は探さない



委託先・システム・クラウド・グループ会社…サイロ化していた全ての監査情報を一つのクラウドで管理。横串・時系列分析で、これまで気づけなかったリスクの予兆を捉え、報告書作成の負荷も劇的に削減します。

### ③AIで高度化 リスク評価にもう迷わない



回答の妥当性をAIが自動判定し、曖昧な回答には逆質問で詳細記述を促すなど、自動で回答者を支援。評価のサジェストや想定リスクを提示し、回答者・評価担当者のスキルに依存しない高精度な評価を実現します。

セキュリティ・コンプライアンス・ソフトウェア  
**Fit&Gap**

## 規程管理の問題

ISMAP・SOC2の対応に伴う  
社内規程やドキュメント整備の負担

ISMAP

政府情報システムのためのセキュリティ評価制度

SOC2

米国公認会計士協会が定めたクラウドサービスプロバイダー・SaaS企業などの内部統制に関する監査報告書

社内規程の策定、ルール遵守の仕組み作りが必要

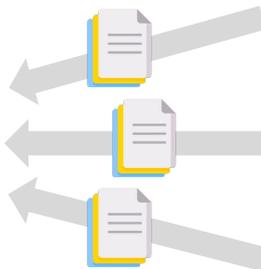


## 運用管理の問題

監査対応に伴う  
エビデンス収集や管理の負担



セキュリティ担当者



A部署

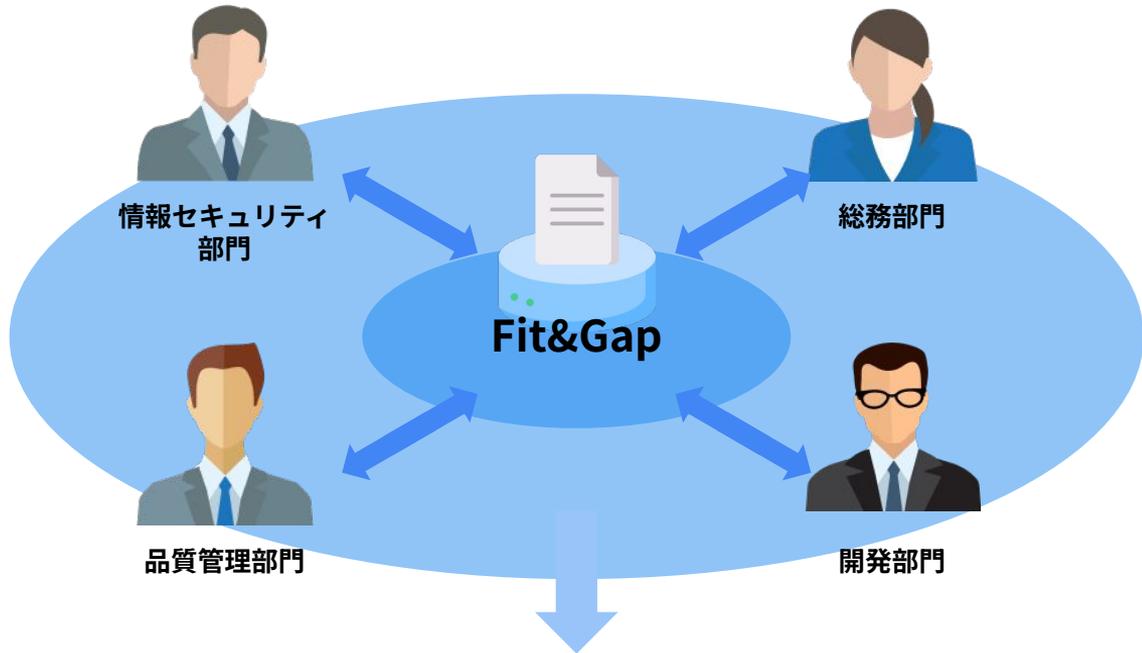


B部署



C部署

情報セキュリティ監査対応を維持・加速するには、人力だけでは限界がある



ISMAP・SOC2の要求事項と社内規程の整備率を可視化し最適化



エビデンス管理も含めた漏れの無いタスク運用



監査対応に関連する業務の効率化

## ① Fit&Gapの把握



ISMAP・SOC2の要求事項に対する社内規程の  
整備率・運用率を可視化します。

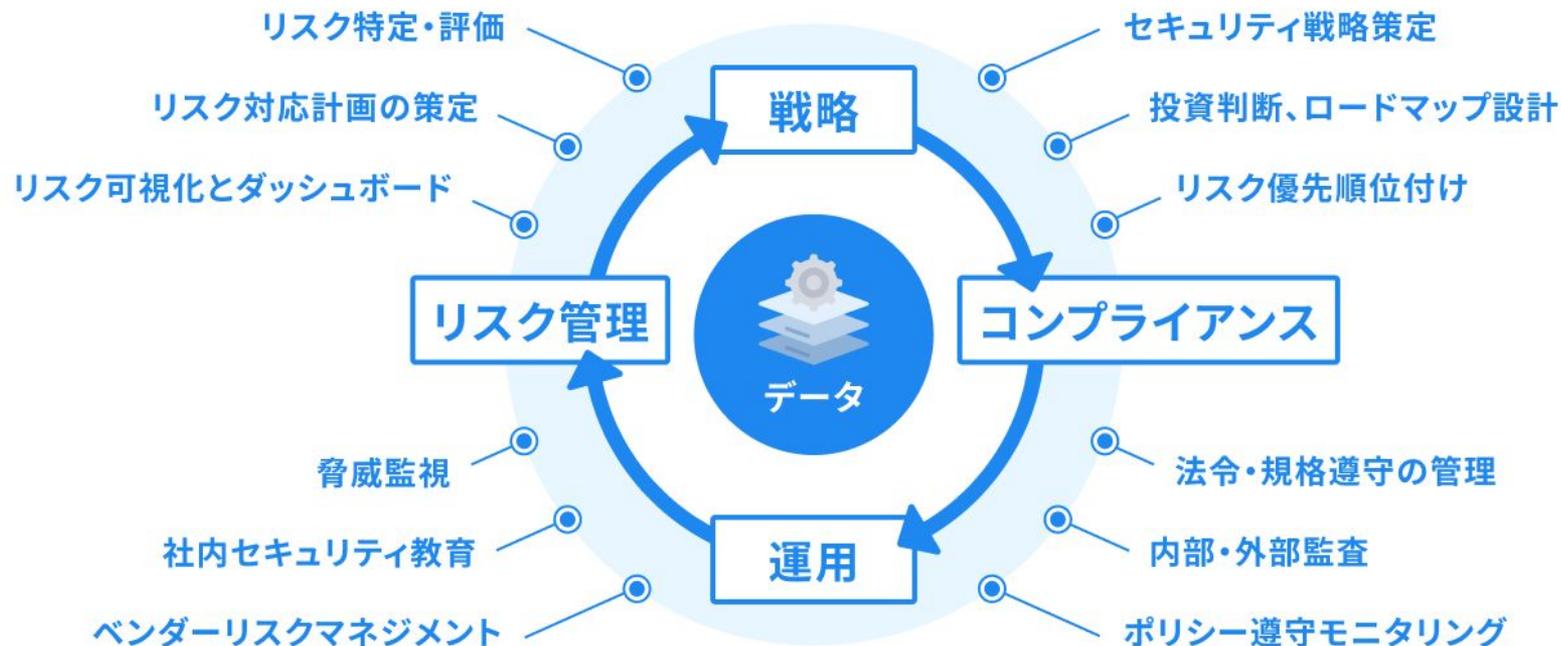
## ② エビデンスの収集・管理



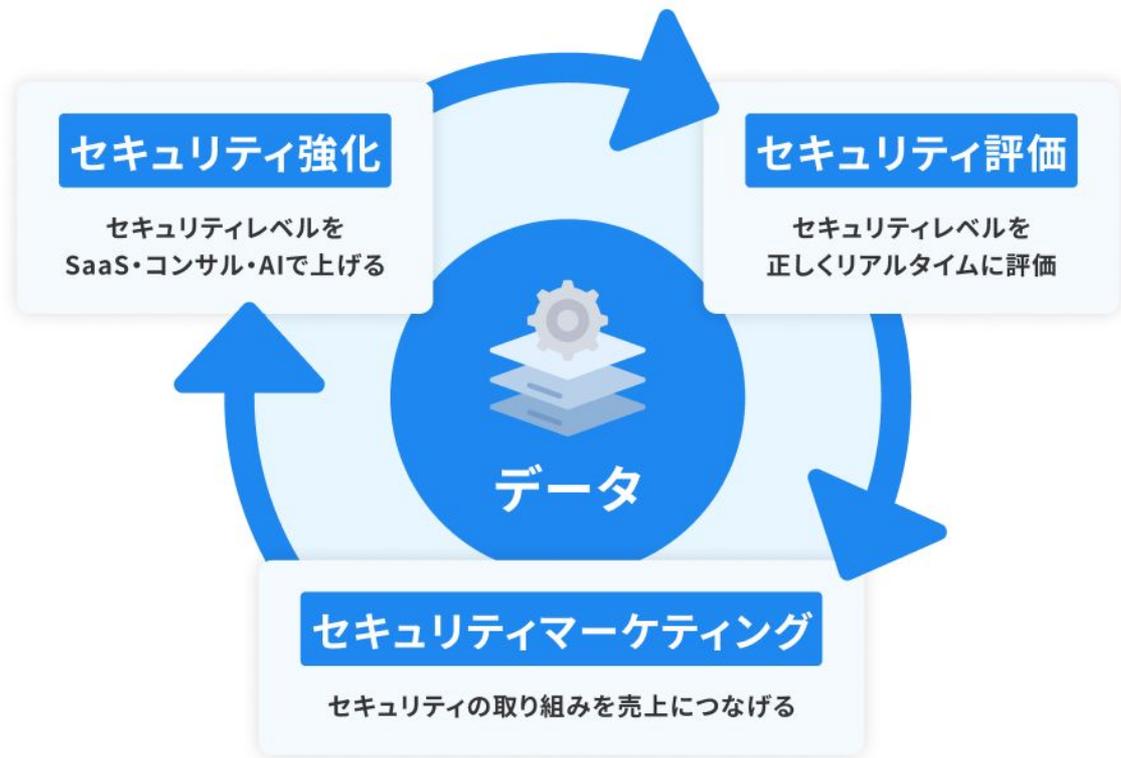
ISMAP・SOC2に準拠するための  
継続的なエビデンス収集を自動化し、  
承認等の管理を効率化します。

# FUTURE PLAN

文系のセキュリティをDXし、悲報をなくす



## セキュリティ経済化サイクルの実現



# 悲報をなくす

時代の変化にともない、世の中がますます便利になる一方で、その進化の影で生じる「悲報」があります。

わたしたちはまず、情報セキュリティ分野での事業を通じて、テクノロジーの進化の影で生じる情報漏えいやセキュリティ事故といった「悲報」をなくします。

そしてその先には、あらゆる「悲報」をなくすことに挑戦します。

情報セキュリティと同じく、大切なのに後回しになってしまっているもの、そこから生まれる悲報があり、それに悲しむ人々があります。

私たちは、そんな後回しになっている領域をアップデートし、より良い世の中を作ります。